

新商品「あったかLINE」

モニター企画拡大版

「寒さはおまかせ」の和装ランジェリー

仕立て衿や衿芯、帯の留め金具をはじめ、多数の和装小物を扱っている「あづま姿」から、寒い季節でも安心して外出できる肌着「あったかLINE」シリーズが発売されました。ソフトな肌触りと機能的なデザインが魅力の新商品を詳しくご紹介しましょう。

「あったかLINE」シリーズの特徴

このシリーズは、同社から発売されている夏の人気ランジェリー「さらっとLINE」シリーズと同様、従来の和装下着を着やすく動きやすいデザインに変えた新しい感覚のランジェリーです。湿気を吸収して外に逃がし、暖かさを作る吸湿発熱性や調湿機能に優れた生地を用いているため、防寒対策に最適。特に寒い地域の方にもお薦めです。暖房の効きすぎによるムレを調節する機能も備わり、冬のきもの生活をいっそう快適なものにしてくれます。



表生地 裏生地 (肌側起毛)

新シリーズにはすべて同じ素材が使われています。「サーモギア®」と呼ばれるこの素材は、ベンベルグとマイクロ抗ビルアクリルを組み合わせたもので、吸湿発熱性、調湿機能に優れた特長を備えています。



あったかLINE 肌襦袢

衿が大きく開いているシャツ型の肌襦袢です。セットしたヘアスタイルのまま、楽に着脱できるのが特徴。生地の伸縮性が高いので、足からの着脱もできます。袖丈はスリッパ同様、暖かさを第一に考えてデザインされた七分丈。きものだけでなく、洋服の際にも重宝するランジェリーです。
M・Lサイズ 各4,830円



あったかLINE 着物スリッパ

着脱は前ファスナーの開閉で行い、セットしたヘアスタイルのまま着脱できる優れたデザインです。ファスナーの裏側には、当て布がつけられているので、直接肌に器具が当たらず、快適な着心地です。従来のスリッパ型に比べてスリムなラインですが、伸縮性の高い生地ですべてフィットします。保温性が高く、サイドのスリットで足さばきも楽に。
M・Lサイズ 各6,195円



あったかLINE 裾よけ

パンツ型の動きやすい裾よけなので、正座したときの不快なべとつき感がありません。股上が浅いデザインになっているので、着脱の際はウエスト部が腰紐にかからず、スムーズにできます。足幅はすっきりしたスリムなラインにし、より保温性を高めています。茶道のお稽古や茶会をはじめ、正座する機会が多い方にもお薦めします。
M・Lサイズ 各3,990円



あったかLINE ガードルペチ

パワーメッシュの生地を使用することにより、気になるウエストやヒップ周りをすっきりさせる、ガードル機能付きのペチコートです。スカート部はスリムなデザイン。サイズは身長とヒップサイズに合わせた4タイプ。おなか周りや腰周りが気になる方にお薦めしたいランジェリーです。
M1・M2サイズ 各4,200円
L1・L2サイズ 各4,515円

着心地を試してみました

右ページで紹介した4点のランジェリーを、4人のきもの通の方々に試着していただきました。

肌触りや着心地はどうだったのでしょうか。皆様の率直な感想をまとめてみました。

人物撮影／板橋隆夫 片野吉健



通気性の高い生地と 着る人の動きが 考えられたデザイン

藤間恵理さん

ふじま・えり◆3歳から日本舞踊を始め、現在は伯母の藤間勘恵理に師事。カルチャースクールの助手や日々のお稽古など、毎日をきもので過ごす。

「肌襦袢」と「ガードルペチ」を試してみました。「肌襦袢」は衿がVネックになっていて、袖丈もちょうどよい長さでした。「ガードルペチ」は、ウエスト部分がガードルのようになっているので、普通の裾よけと比べてごろごろしないところが気に入りました。二点とも肌触りがよく、着ている感じがしなほほど自然に肌になじみます。生地は薄くても保温性が抜群で暖かく、薄いことで肌着のラインが外に響きません。私は汗をかきやすいので、通気性が高い肌着はうれしいですね。生地がさらさらしているのか、かゆくありません。



伸縮性が高い ソフトな生地と 丁寧な作りが魅力

榎木良子さん

まさき・りょうこ◆CMや雑誌のモデルとして活躍後、京都を拠点に「きもの教室」を主宰。小学校から高校で行われる「ゆかた体験学習」も指導。

「着物スリップ」を試着してみました。実際に着てみて驚いたのは柔らかくて肌触りがよいこと。体がすっぽり包まれる感じがしました。ぴったりとなじみながらも、汗をかいてもベタつかず、とても快適です。ファスナー部分も、器具が直接肌に当たらないよう工夫されているところなど、着る人の気持ちになって作られた親切な設計ですね。私の場合、袖丈は普段五分のものを愛用しているのですが、寒い季節にはこの七分丈が暖かそう。シンプルな形なので、お手入れや洗濯も楽そうですね。もし白以外の淡いシャープレット色があったら、遊び感覚で試してみたいです。



肌にフィットする 感覚がとても 心地よいですね

熊倉真子さん

くまくら・まきこ◆札幌市在住の会社員。週末のお出掛けはほとんど袖という袖愛好家。きもでの買い物やお食事、観劇などが楽しみだとか。

「着物スリップ」と「裾よけ」を着用しました。着てみて驚いたのは、どちらも暑くなりすぎないこと。さらりとした感触で、着ている間にムレて体温が上がるということがなく、肌にフィットし、きもの下着にありがちな、着ているストレスがまったく感じられませんでした。きもので最も寒さを感じやすいのは、袖口ですが、ここがぴったりしていることで、北海道の秋にコート無しで外を歩いても少しも寒さを感じませんでした。着るのも洗濯するのも楽そうなお着物スリップは特に重宝しますね。寒がりの人は、「裾よけ」を併用すると万全だと思います。



早朝から始まること が多いお茶の稽古や お茶会にお薦めします

富澤みどりさん

とみざわ・みどり◆会計事務所に勤務。茶道の稽古を続けて約30年。お母様の影響できもの好きに。観劇やお食事などもきもの装いで。

「肌襦袢」と「裾よけ」を試着しました。私は寒がりなので、冬の時期は防寒に気を使っています。お茶のお稽古や茶会は早朝から準備することが多く、特に暖房がない古い茶室などは辛いんですね。そうした寒さのなかでも「肌襦袢」はとても暖かく、衿ぐりが大きく開いているので、着脱が楽にできます。また、お茶のときは正座したまま向きを変えるなど、動くことが多いので、「裾よけ」はそうした際にも動きやすく、冷えやすい足の防寒にも役立ちそうです。「肌襦袢」も「裾よけ」も、レース部分の裏に布が付いているので、チクチクせず快適に着ることができそうです。